

1. 西脇病院フェスタ 「乳がん検診に行こう！(第3回)」(はなみずきの会)

晴天にも恵まれ、病院フェスタに多数の方が来てくださり、乳がん検診に行こう！企画にも153名の方が立ち寄って下さいました。片山西脇市長はじめ市政を担う方々も来て下さいました。昨年から今年6月にかけて乳がん報道が相次ぎ、検診への関心が高まっていたためであろうと思います。

ちょうど時を同じくして、日本の40代女性対象の乳がん検診についての大規模臨床試験(J-START)の結果が、昨年11月に医学雑誌Lancetに発表されました。これは、日本人の40代女性76000人が参加し、従来の検診である、マンモグラフィ+視触診(MMG群)に対して、超音波を併用(MMG+US群)することの意義を検証した試験でした。結果は、MMG+US群は、MMG群に比較して、より早期により多くの乳がんを見つけることができた、という結果でした。一方で今回の臨床試験では、MMGでの要精査とUSでの要精査を独立して判定してその合計で要精査数を出したためもあり、併用群で要精査と生検が増えました。

40代の方の乳がん検診として、MMG+US併用が優れていることは証明されましたが、その実際の運用にはもうひと工夫必要のようです。その工夫のひとつに、MMGとUSの読影診断をばらばらに行うのではなく、それぞれの画像診断法の特性を生かして両者の総合診断を行う、ということが挙げられます。これについては、日本乳癌検診学会主催で、昨年10月に第1回め、今年7月に第2回目の総合判定講習会が開かれ、どちらにも参加してきました。今後の検診のためのみでなく、乳腺診療の場で日常的に行っている、「MMGとUSの画像の総合判断」の診療水準を上げるためにも有意義な講習会でした。

いますぐにできることとして、当院では以前から乳がん検診のMMGで高濃度乳腺の方にはその旨お知らせし、超音波での精査をお勧めしています。当院では、要精査でご受診の方にはMMG画像をお見せして精査となった理由を必ずご説明しています。他院で要精査となった方にはMMG画像をご持参(もしくは取り寄せ)いただくか、ご同意いただける場合には再撮影を行っております。

MMGで高濃度乳腺であると乳がんが早期発見しにくいことを、日本のNPO法人である、乳がん画像診断ネットワークが、MMGの画像を示し、また高濃度乳腺について先駆けとなる活動をされている米国の事情も併せてわかりやすく説明した冊子を作製されています

(<http://bcin.jp/content/2014100948.html>)。ご参考になさってください。

米国では、乳がん検診で高濃度乳腺であった方にはその旨お知らせすることが州ごとに法制化されています (<http://wol.nikkeibp.co.jp/article/column/20141215/196941/>)。これは自身高濃度乳腺であったために早期発見できなかった Nancy M. Cappello 博士の経験に基づいた「Are you dense?」活動 (<http://www.areyoudense.org/>) に触発されたものです。

ところが日本では高濃度乳腺を受検者に通知する仕組みがありません。2016年6月の読売新聞の調査によると (<https://yomidr.yomiuri.co.jp/article/20160612-OYTET50000/>)、主要な131自治体へのアンケートで約7割は異常が見えにくい乳房を通知する仕組みがない(結果表には「異常なし」とのみ記載)との回答であったそうです。

高濃度乳腺は、MMGで乳がんを発見しにくいのみではなく、そもそも乳腺が厚く存在しているために、乳がん発症のリスクでもあるのです。

## 2. 病院フェスタでの質問にお答えします。

西脇病院フェスタは、三輪出張のため今回は医師による相談コーナーがなくて申し訳ありませんでした。お寄せいただいた質問に遅ればせながらお答えいたします。

①今のところ症状はないが不安であると、4名の方がお答えになっていました。  
⇒もしも検診を受けたことがない、最近受けていない、のであれば一度是非検診を受検ください。合わせて自己検診もされるとよいと思います。

②できればエコーを毎年受けてみたい。  
⇒合わせてマンモグラフィ検診も受けてください。マンモグラフィ(MMG)とエコーは得意なところが異なり、MMGは石灰化を見るが得意で、エコーは小さい腫瘍を見つけるのが得意です。エコーはMMGの代わりにはなりません。

③乳癌検診は隔年でいいのか。  
⇒家族歴等リスクが高くなければ隔年で受けてください。また、検診を受検した際に、ご自分が高濃度乳腺かどうか、知っておくことも大切です。  
⇒今後検診結果に、乳腺濃度を付記するように検診施設に働きかけていきます。

④MMGのみでなく、エコーも合わせて受けられるようになればいいな。  
⇒そうですね。特に、高濃度乳腺の方には、必須だと思います。

## 3. バザーにご協力ありがとうございました。売上げはすべて今年11月の第4回にしわき乳がん市民公開講座の開催費用に充てさせていただきます。